

論文

幼稚園における教育課程の再編成

—高知大学教育学部附属幼稚園での取り組み—

Reorganization of kindergarten curriculum: Discussion and practice in the kindergarten affiliated with the faculty of education, Kochi University

玉瀬友美 (高知大学教育学部)¹

中山美香・鎌倉正子・岡谷里香・矢田崇洋

青木佐樹・藤戸綾香 (高知大学教育学部附属幼稚園)²

TAMASE Yumi¹, NAKAYAMA Mika², KAMAKURA Masako², OKATANI Rika², YADA Takahiro²,
AOKI Saki², FUJITO Ayaka²

¹ Faculty of Education, Kochi University

² Kindergarten Affiliated with the Faculty of Education, Kochi University

ABSTRACT

The purpose of this study was to confirm the significance of the curriculum in kindergarten education and to verify the importance of reorganizing the curriculum. Teachers targeted in this study reorganized the curriculum, reviewed the monthly guidance plan, and then educated kindergartners while referring to various teaching plans corrected. As a result of this research, it was shown that by teaching while referring to the curriculum, it became possible to make the educational goals conscious, to think more deeply about the experience of the children, and to make teaching plans attentively.

1. はじめに

幼稚園は、幼児一人ひとりが自分の興味や関心にもとづいて、直接的で具体的な経験を重ねることをとおして主体的に学ぶ場である。しかしながら、幼児の主体性を重視するあまり、幼児の興味のおもむくままにただ遊ばせているだけでは教育は成り立たない。幼児が周囲の環境と関わりながら発達に必要な経験を心得いけるよう、保育者は「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」などをふまえ、適切な指導をすることが求められる。そして、その際、保育者の指導のよりどころとなるものとして、教育課程が位置づけられる。

教育課程に関しては、『幼稚園教育要領』（文部科学省, 2018a）の第1章総則第3「教育課程の役割と編成等」において、「各幼稚園においては、教育基本法及び学校教育法その他の法令並びにこの幼稚園教育要領の示すところに従い、創意工夫を生かし、幼児の心身の発達と幼稚園及び地域の実態に即応した適切な教育課程を編成するものとする。」と規定されている。また、『幼稚園教育要領解説』（文部科学省, 2018b）の第1章総説第3節教育課程の役割と編成等1教育課程の役割には、「教育課程の編成に当たっては、国立、公立、私立を問わず、全ての幼稚園に対して、公教育の立場から、教育基本法や学校教育法などの法令や幼稚園教育要領により種々の定めがなされているので、これらに従って編成しなければなら

い。」と述べられている。

本稿では、幼稚園教育における教育課程の意義を確認し、高知大学教育学部附属幼稚園での教育課程再編成の取り組みを報告することを通して、教育課程を再編成することの重要性を検証することを目的とする。

2. 幼稚園教育における教育課程の重要性

幼稚園の教育課程は、それぞれの園の教育目標に沿って、子どもたちの発達の姿や地域のニーズに配慮しながら編成されることが求められているが、文章化された教育課程をもたない幼稚園があったり、教育課程が編成されていても、その改善が行われていなかったり、長期の指導計画と混同されていたりする場合があることが報告されている（溝口, 2008；中村, 2017；松田・土谷, 2012）。

日々の保育は短期の指導計画である日案や週案に基づいて行われる。そして、そのような短期の指導計画は、長期の指導計画である月別指導計画、期の指導計画、あるいは年間指導計画と密接に関連づいており、それらは教育課程から導き出されたものである（図1）。つまり、長期および短期の指導計画は教育課程の具現化であり、教育課程を編成することは、日々の保育が幼児期にふさわしいものとなるために欠かすことのできないものである。

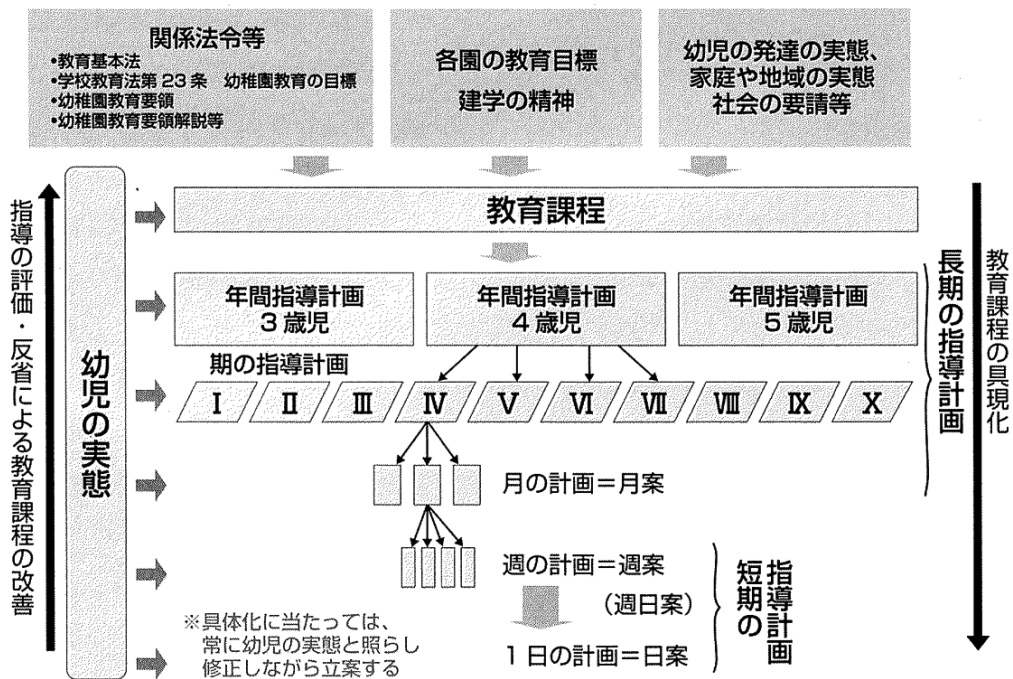


図1 教育課程と指導計画の関係（イメージ図）

（『指導計画の作成と保育の展開』文部科学省 平成25年7月改訂 フレーベル館 18ページより）

しかし、教育課程を編成することの重要性が広く周知されているとは言い難い現状がある。たとえば、田中・石川・貞方(2020)は、幼稚園で編成されている教育課程の多くはねらいや内容の一部が断片的に記述されたものにとどまり、園が行う全ての教育の基礎となっていないこと、保育雑誌に掲載されている年間指導計画のモデルの多くは教育課程モデルに基づいたものでないことを指摘している。

保育所、幼稚園、幼保連携型認定こども園におけるすべての子どもに対する保育の質の向上を図ることが目指される近年の保育の動向の中で、多様な生活リズムを持つ子どもたちが同じように幼児期にふさわしい生活をおくるためには、教育要領に基づき園の教育の根幹となるものとして編成された教育課程と、それと密接に関連する長期および短期の指導計画のもとで保育が行われることの重要性がますます高まっているといえよう。

表1 教育目標と目指す子ども像（高知大学教育学部附属幼稚園）

教育目標

- ①たくましい心と体を育て、健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
- ②人に対する愛情や信頼感を育み、根気よくやり遂げる力を養う。
- ③身近な環境に好奇心や探求心をもって関わり、考える力を養う。
- ④イメージを豊かにし、言葉の面白さに気づき、喜んで話したり聞いたりする態度を養う。
- ⑤豊かな感性とのびのび表現する力を養う。

学年の教育目標

《年少》

- ①身の回りのことを自分でしたり、運動遊びを喜んでする力を養う。
- ②先生や友達に親しみをもち安心して様々なことに関わろうとする力を養う。
- ③身近な自然やものに興味をもって関わり楽しむ力を養う。
- ④先生や友達の言葉や話に興味や関心をもって聞いたり、親しみをもち話したりする態度を養う。
- ⑤イメージしたことを思いのままに表現する力を養う。

《年中》

- ①運動遊びを楽しむ心を育て、健康で安全な生活を送る力を養う。
- ②友達や先生と触れ合う中で心を通わせ、粘り強く取り組む力を養う。
- ③身近な環境に積極的に関わり、試したり工夫したりする力を養う。
- ④経験したことなどを自分なりの言葉で表現したり、注意して相手の話を聞いたりする態度を養う。
- ⑤心を動かすできごとを通してイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ力を養う。

《年長》

- ①たくましい心と体を育て、健康で安全な生活をつくり出す力を養う。
- ②人に対する愛情や信頼感を育み、根気よくやり遂げる力を養う。
- ③身近な環境に好奇心や探求心をもって関わり、考える力を養う。
- ④イメージを豊かにし、言葉の面白さに気づき、喜んで話したり聞いたりする態度を養う。
- ⑤豊かな感性とのびのび表現する力を養う。

目指す子ども像

- たくましい心と体をもち、根気よくやり遂げる子ども
- 好奇心や探求心をもち、よく考え、のびのび表現する子ども

3. 高知大学教育学部附属幼稚園における取り組み

高知大学教育学部附属幼稚園では、表1に示す教育目標及び目指す子ども像にもとづき、平成30年度に教育課程を再編成した。ここでは、日々の保育記録を見直し、指導計画を修正し、そこから教育課程を再編成するという方向性のもとで取り組みがなされた。その結果、以下のような課題が明らかとなった。

課題1：めざす子ども像に向かって、各学年の教育目標を踏まえ、期ごとに示した教育内容で子ども達は必要な経験を重ねながら育っているのかが明確ではない。

課題2：2年～3年の保育期間を通して子ども達をどのように育てたいのかを指導計画に示し、教師間で共有を図りながら保育をすることができているとはいえない。

課題3：各教師は、自己分析を生かした課題や方向性をもって、子どもの育ちや変容を記録しながら、よりよい幼児理解や指導計画の作成につなげていっているとはいえない。

ところで、教育課程の編成と指導計画の作成には2つの方向性がある。1つは、教育課程という教育の全体的な枠組みから年間指導計画へ、そして月案、週案、日案へと、指導計画を順に具体的に立てていく方向性である。もう1つは、幼児の実際の姿をとらえ、それを反映させて日案、週案へ反映させ、それを積み重ねて長期の指導計画を作成し、そして教育課程の編成へとすすむ方向性である(溝口, 2008)。

そこで、平成30年度における課題を解決するために、令和2年度においては、教育課程の編成と指導計画の作成の方向性を変え、まず教育課程の再編成を行った。そして、それに合わせて月別指導計画の見直しを行い、修正された月別指導計画と照らし合わせながら日々の子どもの姿を振り返り、そして、週日案の作成と実践を行う、という方向性をもって保育ならびに教員間の協議をすすめていった。

以下に、令和2年度における教育課程の再編成に向けた取り組みを報告する。

(1) 教育課程の再編成と月別指導計画の見直し

課題1「めざす子ども像に向かって、各学年の教育目標を踏まえ、期ごとに示した教育内容で子ども達は必要な経験を重ねながら育っているのかが明確ではない。」を解決するために、教育課程において期ごとにまとめて記載されていた「ねらい・内容」を幼稚園教育要領における5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)に基づいて分類した。

具体的には、まず、約90cm×120cmの模造紙を用いて、「ねらい・内容」を5領域に分類するための表を作成した。この分類表における行は「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」であり、列は1期(4・5月)、2期(6・7月)、3期(9・10月)、4期(11・12月)、5期(1・2・3月)である。このような分類表を学年ごとに準備した。そして、平成30年度に編成した教育課程における「ねらい・内容」をすべて複写し、項目ごとに切片化し、その1つひとつの項

目がそれぞれの期において5つのうちのどの領域に関連するものであるかについて教員間で協議し、5領域にもとづく分類表に貼付していった。

このようにして教育課程における「ねらい・内容」を5領域に分類した結果、「人間関係」に関連するものが多かったり、「表現」に関連するものが少なかったりといった偏りがあることがわかった。しかし、教員間で協議をしたところ、保育実践者としての教員の実感としては、5領域の偏りがそれほど大きいものではないという意見が出た。そこで、次に、月別指導計画における「ねらい・内容」の見直しを行った。平成30年度の月別指導計画における各月の「ねらい・内容」の部分を複写して項目ごとに切片化し、先の分類表に重ねて貼付していった。その結果、教育課程には明記されていなかったが、月別指導計画には書かれている「ねらい・内容」があり、それらを整理することで分類表における5領域の偏りが改善されていった。このような作業を積み重ね、分類表を教員同士で見合い、経験の偏りがあれば再度分類したり適時性を協議したりして教育課程を加筆修正していった(資料1, 2, 3参照)。

(2) 週日案作成と保育実践

課題2「2年～3年の保育期間を通して子ども達をどのように育てたいのかを指導計画に示し、教師間で共有を図りながら保育をすることができているとはいえない。」を解決するために、教育課程における5領域に分類した「ねらい・内容」を意識して週日案の作成を行い、月別指導計画における子どもの姿と照らし合わせて各週の子どもの様子を学年会で振り返り、次の週の案を計画し、実践を行った。

(3) 記録に基づいた教員間での協議

課題3「各教師は、自己分析を生かした課題や方向性をもって、子どもの育ちや変容を記録しながら、よりよい幼児理解や指導計画の作成につなげていっているとはいえない。」を解決するために、週日案に基づく保育を実践していく上で、子ども一人ひとりへの理解を深めるとともに、環境構成と援助を見直すために、ビデオを活用した記録を行った。記録の方法や手順は、以下のとおりである。

- ①週に一度、1クラス1時間、ビデオで撮影する。
- ②撮影記録をもとに、テーマに基づいて記録(分析)を行う。その際、遊びと学びのつながりを考えることができるように、また、「何をして」ではなく「どのように」遊んでいるかを考え、子どもの姿をより意識することができるように、子どもの「夢中度」や「満足度」などについても検討する。
- ③園内研修で、記録をもとに協議する。
- ④協議を受けて、記録を加筆・修正する。

教員間の協議では、教育課程の再編成、月別指導計画の見直し、週日案の作成とそれにもとづく保育実践に関して、以下のような意見が出された。

- ・月別指導計画→週日案→記録・協議→月別指導計画という、PDCAサイクルで振り返りや見直しを行う際に教育課程に立ち返ることで、本園が大切にしていることを見落とさずに指導計画を作成し、柔軟な指導を行うことができた。
- ・月別指導計画の見直し・修正の際に5領域に偏りが無いかを考慮したことで、教員同士の保育の話の中で、月別指導計画とのつながりを意識した発言が以前よりも多くなった。
- ・週日案や記録の振り返りを通して、具体的な子どもの様子を思い浮かべながら加筆することで、月別指導計画の見直しや修正が楽しくなった。
- ・援助や環境構成を考える際に、子どもたちが経験していることの中で、5領域や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」につながる経験が足りないことはないかを、以前よりもよく考えるようになった。
- ・記録をもとに教員間で協議することで、今まで以上に、子ども理解や、子どもたちに必要な経験について考えるようになった。
- ・記録に基づいて振り返ることで、教師自身のかかわりを客観視でき、次の保育への手立てを具体的に見通すことができるようになった。

4. まとめ

本稿の目的は、教育課程の意義を明らかにし、高知大学教育学部附属幼稚園での教育課程再編成の取り組みを通して、教育課程を再編成することの重要性を検証することであった。

高知大学教育学部附属幼稚園では、全教員が関わって教育課程の再編成がなされた。そして、教員間での協議記録から、教育課程に立ち返りながら保育をすることで教育目標を意識化しながら実践に取り組めるようになったこと、ねらい及び内容を5領域に整理することで、保育の援助や環境構成をする際にそれが幼児の発達にとって必要な経験になっているかどうかを考える手がかりとなったこと、教育課程に記述されていることが教員間での協議における共通言語になり、次の保育を具体的に見通す際の土台として機能していたことがうかがえた。そして、指導計画の作成が楽しくなったと保育者が感じていることは、一人ひとりの保育者が生き生きと教育・保育活動に取り組む上で特に重要である。

上村(2017)は、保育園・幼保連携型認定こども園に主任として勤務する保育者88名を対象に質問紙調査を行い、全職員で教育課程を編成する園が14%にとどまることを指摘している。そして、教育課程および全体的な計画を編成・見直し・共有する際の課題とし

て、「保育課程に対する職員の意識が低い」「保育課程と指導計画のつながりや保育課程の重要性を理解していない」「言い回しや文章化が難しい」「指導計画作成時に活かされていない」「上層部トップダウン編成に伴う現場レベルの実態との乖離」といった意見があることが報告されている。

抽象的な表現になりがちな教育・保育課程であるが、本稿で報告した取り組みのように「ねらい・内容」を5領域に分けて整理することは、教育・保育課程が指導案や保育実践へ具体的に活用されやすくなるための一つの工夫である。他にもさまざまな工夫があろう。今後は、それぞれの教育・保育現場においてどのような教育・保育課程が編成され、それが指導計画にどのように活用され、実際の保育に活かされているかについて、各園が公開していくことが重要ではないだろうか。そのようにして教育・保育課程にかかわる知見が蓄積されていくことが、保育の質を高めていくことにつながると考えられる。

引用文献

- 松田智子・土谷長子(2012) 幼稚園教育課程編成の現状と課題(1) —A市立公立B幼稚園の教育課程の現状を通して— 環太平洋大学紀要(6), 135-140.
- 溝口綾子(2008) 幼稚園における教育課程の編成—帝京めぐみ幼稚園教育課程編成の実例— 帝京短期大学紀要(15), 85-92.
- 文部科学省(2013) 『指導計画の作成と保育の展開』フレーベル館
- 文部科学省(2018a) 『幼稚園教育要領』
- 文部科学省(2018b) 『幼稚園教育要領解説』フレーベル館
- 中村三緒子(2017) 幼稚園教育要領・教育課程の変遷と課題 淑徳大学短期大学部研究紀要, 56, 99-108.
- 田中敏明・石川ますみ・貞方聖恵(2020) 幼稚園教育課程モデルの編成 九州女子大学紀要, 56, 2, 13-23
- 上村晶(2017) 幼児教育・保育現場におけるカリキュラムデザインに関する一考察—保育のグランドデザインの編成プロセスにおける構造と現実的課題— 桜花学園大学保育学部研究紀要, 15, 23-42.

付記

本研究の一部は高知県教育委員会主催の令和2年度幼児教育研究協議会(2期)において発表された。

資料1 年少組 教育課程(ねらい・内容)

期	1		2		3		4		5		
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
5つの領域におけるねらい・内容	健康	○園生活に慣れ、安心して過ごす。 ■自分の好きな遊具や遊びを見つけて遊んだり、園での生活の仕方を知ってやってみようとしたりする。 ■先生や友達と弁当を食べることを楽しむ。	○戸外のような場や固定遊具などに親しみ、のびのびと遊ぶ。 ■先生やまわりの友達と一緒に小山や固定遊具に上がったたり、降りたり、前庭を走り回ったりすることを楽しむ。 ■乗り物で興味のある場所へ行ってみる。	○いろいろなことに興味をもって、自分の思いを表しながら遊ぶ楽しさを味わう。 ■ごっこ遊びに仲間入りして自分の思いを表したり、いろいろな物やことに興味をもってイメージを広げて遊んだりする。 ■運動遊びに興味をもち、体全体を使って遊ぶことを楽しむ。	○園での生活の仕方がわかり、進んで身の回りのことをしようとする。 ■集団生活の仕方に気付く。 ■自分の身の回りのことをできるだけ自分でしようとする。	○先生に教えてもらいながら、病気の予防などに必要な活動を行う。 ■先生や友達と一緒に風邪の予防のために手洗いやうがいしようとする。 ■好き嫌いなく何でも食べようとする気持ちをもつ。					
	人間関係	○先生や友達と一緒にいる心地よさを感じる。 ■同じ場にいる友達、同じ遊具で遊んでいる友達と触れ合う。 ■先生に親しみを感じる。	○自分の好きな場や物、遊びを見つけて、くり返し遊ぶことを楽しむ。 ■様々な遊具や素材、場所の中から、自分で好きな遊びを選んでくり返しやってみる。	○生活の仕方がわかり、自分なりに自信をもって生活を進めていこうとする。 ■遊びや生活のなかで、やりたいと思ったことや、やらなければならないことを、自分でやってみようとする。	○共同の遊具や用具などを大切にし、みんなで使う物であることに気付く。 ■個人の物とみんなの物とがあることに気づき、大事に扱う。	○自分の思いだけでなく、よいことや悪いことがあることに気づく。 ■言ってはいけないことやしてはいけないことに気づき、自分なりに考えて行動する。					
	環境	○様々な自然に触れて、面白さや不思議さを感じる。 ■発見を喜びながら、春の自然や砂、土、水に触れて遊ぶ。 ■身近な生き物を見たり、触れたりし、面白さ、不思議さを感じる。	○思いのままに、いろいろなものに触れながら、ものの性質に気づいていく。 ■砂や土、水、様々な遊具や素材に思い思いにかかわり、変化する様子を楽しむ。	○初秋の自然の様子に興味をもつ。 ■木の実や葉、虫など秋の自然に触れて親しんだり、遊びに取り入れられたりする。	○自然などの身近な事象に興味をもつ。 ■秋の自然や雨や風などに、心を動かされ、見たり、触れたりして遊ぶ。	○冬や春の様々な自然に触れる。 ■冬や春の訪れを園庭の植物や自然現象等から気づき、親しみをもってかかわろうとする。					
	言葉	○先生の話に興味をもったり、自分の言葉を先生に受けとめてもらう満足感を得たりする。 ■くり返しのある絵本や紙芝居を読んでもらい、お話を楽しむ。 ■先生の話に親しみをもって聞いたり、話したりする。	○したり、見たり、心が動いたことを自分なりに言葉で伝える。 ■先生や友達に、驚いたこと、できたことなどを、言葉や態度で伝える。	○生活の中で必要な言葉が分かり、したいこと、してほしいことを先生や友達に伝えようとする。 ■遊びや生活のなかで、必要な言葉が分かり、使ってみる。	○絵本やお話に興味をもち、繰り返し楽しむ。 ■簡単なストーリー性のある絵本や紙芝居を喜んで見る。	○リズムのある言葉の楽しさに気づく。 ■くり返しのある絵本などに親しむことで、リズムのある言葉を喜んで使ってみる。					
	表現	○様々な自然や素材、用具に出会い、色や形、感触を楽しむ。 ■草花や木の実に触れて色や形を楽しんだり、砂や粘土の感触を楽しんだりして遊ぶ。 ■身近な用具の色や形を楽しみながら思いのままに描く。	○感動したことを伝える楽しさを味わう。 ■感動したことを先生や友達に伝え、受けとめてもらう。		○いろいろな材料や用具に関心をもち、イメージしたことを喜んでかいたり、つくったりする。 ■木の実や落ち葉などの音、色、形、香りに心動かし、イメージする。 ■身近な素材や用具からイメージを広げて、思いのままにかいたり、作ったりする。	○先生や友達と一緒に、歌や簡単なリズム遊び、劇ごっこの楽しさを味わう。 ■友達と一緒に、歌ったり、楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。 ■クラスのみんなで劇ごっこをする中で、好きな登場人物になり、自分なりの動きや言葉で表現することを楽しむ。					

資料2 年中組 教育課程(ねらい・内容)

期 月	1		2		3		4		5		
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
5 つ の 領 域 に お け る ね ら い ○ ・ 内 容 ■	健康	<p>○新しい環境に慣れ、安心して過ごす。【新入児】</p> <p>■先生や友達と一緒に、好きな遊びを見つけて遊ぶ。</p> <p>■園での生活の仕方を知り、自分でやってみようとする。</p> <p>○進級した喜びを感じ、新しい環境に慣れ、遊びや生活に進んで取り組む。</p> <p>【進級児】</p> <p>■気の合う友達と一緒に好きな遊びや場を見つけて存分に楽しむ。</p> <p>○先生や友達と一緒に思いきり体を動かして遊ぶことを楽しむ。</p> <p>■固定遊具や乗り物などで、いろいろな動きや感覚をくり返し楽しむ。</p>	<p>○様々な活動に興味や関心を持ち、楽しんで取り組む。</p> <p>■友達や先生をしていることをまねたり、取り入れたりして活動することを楽しむ。</p> <p>■思いをめぐらし、試したり、くり返したりして遊ぶことを楽しむ。</p>	<p>○幼稚園における生活の仕方を知り、自分なりの見通しをもって行動する。</p> <p>■遊びの準備や片付け、衣服の着脱など、自分にとっての必要性からやってみる。</p> <p>■生活や遊びの中で困ったことなどを先生や友達と考えながら、決まりや約束の大切さに気付く。</p> <p>○運動遊びに興味をもって自らしようとする。</p> <p>■いろいろな動きを楽しむ。</p> <p>■いろいろな運動遊びに興味を持ち、戸外に出て思い切り体を動かす。</p>	<p>○先生や友達と一緒に野菜の栽培を通して、食べ物への興味・関心をもつ。</p> <p>■年長の行事で食べる野菜の植え付けなどを通して、食べ物に関心をもつ。</p> <p>■好き嫌いをなく何でも食べようとする。</p> <p>○自分の健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な活動をする。</p> <p>■自分の成長を喜びながら自分の体に興味を持ち、手洗い、歯磨き等を進んずる。</p>						
		人間関係	<p>○先生や友達に親しみを持ち、一緒にいる楽しさや心地よさを味わう。【新入児】</p> <p>■先生をしていることを真似したり、一緒に遊んだりする。</p> <p>■まわりにいる友達に興味を持ち、面白そうなことや使っているものを真似して遊ぶ。</p> <p>○自分のやりたいことを見つけ、自分で考えて行動しようとする。</p> <p>■どのようにすればやりたいことが実現するか、やりたいことを実現させる方法を先生と一緒に考えてやってみる。</p>	<p>○友達と好きな遊びを楽しむなかで、喜びや悲しみなど様々な感情を共感し合う。</p> <p>■友達と喜び合ったり、悲しんでいる友だちをなぐさめたりして、同じような感情をもつ。</p> <p>■思いのすれ違いなどから悔しさや悲しさを味わう。</p> <p>○共同の遊具や用具などを大切に、みんなで使うものであることに気付く。</p> <p>■共同の遊具や用具を大事に扱う。</p> <p>■共同の物を自分も相手も使いたいことを知り、先生と一緒にどうしたらよいか考える。</p>	<p>○いろいろな遊びを楽しみながら、繰り返したり、試したりする中で、満足感や達成感を味わい、やり遂げようとする気持ちをもつ。</p> <p>■やりたい、面白そうと思ったことを、満足するまで繰り返したり試したりして遊ぶ。</p> <p>■やりたいことができるようになったり、先生や友達に認められたりすることで自信をもつ。</p> <p>○自分の思いが伝わる喜びや相手の思いを聞く楽しさを味わう。</p> <p>■自分の思いを分かるように伝えようしたり、相手の思いにも気付いたりする。</p> <p>■先生に支えられて思いを伝え合うなかで、自分とは異なる考えがあることに気付く。</p>	<p>○気の合う友達と一緒に遊ぶことを通して友達のよさに気付く。</p> <p>■友達と心を動かすできごとを共有したり、思いや考えを伝え合うことで、友達のよさに気付く。</p> <p>■友達や年長児の様子を見てまねたり、やり方を教えてもらったり、刺激を受けながら遊ぶことを楽しむ。</p> <p>○遊びや生活のなかで決まりやルールがあることに気づき、自分なりにその意図を考えて、守ろうとする。</p> <p>■先生や友達と決まりやルールを守ると生活が心地よかったり、楽しく遊べることに気付く。</p> <p>■守らなければならぬ決まりや、しなければならぬこと、遊びのルールなどを知り、行動する。</p>	<p>○友達との遊びを楽しむ中で、みんなと一緒に楽しいと感じる。</p> <p>■友達との遊びを楽しむ中で、相談したり、譲り合ったりする。</p> <p>■困っている友達がいたら、声をかけたり、先生に伝えたりする。</p>				

資料2 年中組 教育課程(ねらい・内容) つづき

期 月	1		2		3		4		5		
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
5つの領域におけるねらい・内容	環境										
	<p>○園庭の落ち葉、小さな草花や実、虫など春の自然に心を動かし、美しさ、面白さ、不思議さに気づく。【新入児】 ■色や形の美しさ、不思議さを感じながら草花や実、落ち葉を集める。 ■先生と一緒に虫を捕まえたり、その形や動きを不思議に思いながら見たりする。 ○自然や様々なものに触れて遊ぶ楽しさや、その性質や仕組みを知る楽しさを感じる。 ■身近な自然物や生き物に触れながら春の季節の心地よさを感じる。 ■砂、土、水などの感触を味わいながら自分なりに試したり、発見したりして遊ぶ。 ■身近にある遊具や素材を使い、試し</p>		<p>○自然などの身近な事象に関心をもち、自分なりにかかわろうとする。 ■雨や風、砂や土、夏の草花、虫などを、見たり、触れたり、聞いたり、感じたりする。</p>		<p>○身近な動植物など命あるものへのかかわり方に気付く。 ■小動物を飼ったり、花や野菜を育てたりして、大切にしようとする。 ○いろいろな国の国旗に親しむ。 ■運動会などの行事で国旗に触れたり、作ったりして、国旗に親しみを持つ。</p>		<p>○秋の自然物や様々な素材などにかかわって遊ぶなかで、数や形、大きさに興味をもって遊ぶ。 ■木の実や色付いた葉を集めて遊ぶなかで、数や形、大きさに興味をもち、数えたり、比べたりして遊ぶ。 ○遊びや生活のなかで簡単な標識や文字などに関心をもつ。 ■必要性に応じて、文字や標識を遊びに取り入れて遊ぶ。</p>		<p>○豆まきやおひなさまなど春の行事に親しむ。 ■節分やおひなさまの由来を知り、日本の文化にふれる。</p>		
言葉											
<p>○先生やまわりの友達の言葉に興味をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。 ■先生や友達の話に興味を持って聞いたり、絵本や紙芝居を見たりする。</p>		<p>○友達や先生に自分の要求を言葉で伝えたり、分からないことは言葉で尋ねたりする。 ■自分の思いや考えを言葉で相手に伝えたり、受けとめたりしながら遊ぶことを楽しむ。 ■分からないことを、自分なりの言葉で尋ねようとする。</p>		<p>○先生や友達に進んで挨拶をする。 ■自分から挨拶をする。 ■挨拶によって自分も相手も心地よくなることに気づく。</p>		<p>○友達や先生と思いを伝え合うなかで、人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す必要性に気付く。 ■自分の思いや考えを言葉で相手に伝えようとする。 ■生活に必要な言葉の意味や使い方がわかる。 ○いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。 ■遊びや生活、絵本に親しむなかで、言葉の楽しさや美しさに気づき、イメージや言葉を豊かにする。 ■絵本や紙芝居の世界で想像をする楽しさを味わいながら、様々な言葉に興味や関心をもつ。</p>		<p>○絵本や物語の世界に入りながら様々な言葉に興味・関心をもつ。 ■自分の思ったことや感じたことなどを、イメージを広げ工夫して表現したり、なりきったりすることを楽しむ。</p>			

資料2 年中組 教育課程(ねらい・内容) つづき

期		1		2		3		4		5		
月		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
5 つ の 領 域 に お け る ね ら い ○ ・ 内 容 ■	表現	<p>○生活の中で様々な音や形、色、手触り、動きなどに気づいたり、イメージを豊かにしたり、その不思議さを感じたりする。</p> <p>■園庭の自然物や砂や土の形や色、感触、変化する様子などに心を動かしながら遊ぶ。</p> <p>■様々な遊具や素材に親しみ、形や色などを工夫しながら作ったり、描いたりする。</p>		<p>○感動したことを友達や先生と伝え合う楽しさを味わう。</p> <p>■心が動かされたことを友達や先生と言葉や表情、動作などで伝え合い、感動を共有する。</p>		<p>○自分のイメージをいろいろな方法で表現しようと工夫したり、試してみようとしたりする。</p> <p>■土団子や色水など年長児や友達がしているのを見て、自分のイメージに合ったものを作ろうと自分なりにやってみようとする。</p> <p>■自分のイメージを表現するために、様々な素材や道具などから、必要な物を選んで、工夫して作る。</p>		<p>○お話の世界で自分のイメージを動きや言葉などで表現する楽しさを味わう。</p> <p>■友達と一緒に、ごっこ遊びや劇遊びで好きな役になって、表現することを楽しむ。</p>		<p>○友達と一緒に、かいたり、つくったりすることを楽しむ。</p> <p>■友達とイメージを伝え合いながら、必要なものをかいたり、つくったりすることを楽しむ。</p> <p>○先生や友達と一緒に、歌ったり、簡単なリズム楽器で遊んだりする楽しさを味わう。</p> <p>■友達やクラスみんなで心を合わせて歌ったり、楽器を鳴らしたりする。</p>		

資料3 年長組 教育課程(ねらい・内容)

期	1		2		3		4		5			
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
健康	<p>○年長組になった喜びや自覚をもち、進んで園生活に取り組む。 ■生活に必要なルールや道具の置き場所などを自分達なりに考える。 ■新入園児に関心をもって関わったり、見通しをもって最後までやろうとしたりする。 ○食べ物に興味や関心をもち、食の大切さに気付く。 ■植物の生長を楽しみにしながら、世話をする。</p>		<p>○園生活における大まかな見通しをもち、活動に取り組む。 ■時間の流れや場の使い方を見通し、自分から行動する。</p>		<p>○運動遊びを楽しみ、積極的に取り組む。 ■もっと上手になりたいなどの願いをもって、根気よく挑戦する。 ■友達といろいろな遊び方を考えたり、競ったり、自分達でダンスをしたりするなど体を動かすことを楽しむ。</p>		<p>○身近な自然、社会事象に関心をもって関わり、責任をもって行動する。 ■病気の予防策について知り、意識して生活しようとする。 ■交通安全の習慣や災害時などの行動の仕方を理解し、安全に気を付けて行動する。 ■園内の危険な場所や遊び方などの気づきを伝え合い、安全に行動しようとする。</p>		<p>○自分達で生活の場を整えながら、見通しをもって行動する。</p>			
	<p>5つの領域におけるねらい○・内容■</p> <p>人間関係</p>		<p>○友達と思いや考えを出し合って遊びを進めたり、いろいろなことに一緒に挑戦したりする楽しさや充実感を味わう。 ■友達や先生に励まされながら、これまで少し難しいと思っていたことやあまり経験のなかった活動にも根気強く取り組もうとする。 ■友達とアイデアを出し合いながら、遊びの場や必要な道具を作ったり、ルールを決めたりして遊びを進める。 ○生活に必要な約束事や取り組み方を考え、行動しようとする。 ■クラスや園全体の共有の遊具や用具を安全に気を付けて大事に使ったり、見通しをもって片付けたりする。</p>		<p>○友達と積極的に関わり、様々な感情を味わうなかで、自分の気持ちを伝えるとともに相手の気持ちもわかろうとする。 ■考えを出し合って遊ぶなかで、友達の考えに共感したり受け入れたりする。 ■友達と思いや考えがすれ違ったときには、気持ちを立て直したり、どうしたらよいか考えたりしようとする。</p>		<p>○友達のよさに気づき、互いのよさを生かしながら共に活動する楽しさを味わう。 ■友達と共通の目的に向かって、互いに得意なことや知恵を出し合い、心を合わせて遊ぶことを楽しむ。</p>		<p>○地域の人々など自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみ、感謝の気持ちをもつ。 ■街路市での買い物や餅つきなどの行事を通して、地域や他校の人と関わり、一緒に取り組む。 ■お世話になっている家族や地域の人に感謝の気持ちや思いを言葉などで表現し、伝える。 ■祖父母に思いを巡らせて、感謝の気持ちを絵手紙などで伝える。 ○見通しをもって生活し、やらなければならないことを集団の中で意識する。 ■友達と一緒に必要な決まりを考えたり、守ったりして見通しをもって行動する。 ■言うてはいけないことややしてはいけないことに気づき、自分の行動をふり返り、相手の思いを考えたかかわろうとする。 ○友達とかかわりを深め、思いやりをもつ。 ■いろいろな友達とかかわるなかで、自分とは違う相手の思いに気づき共感したり、思いやりのある行動をしようとする。 ○自分の考えを出したり、友達の考えを取り入れたりしながら、同じ目的をもち協力して遊びを進める楽しさを味わう。 ■友達と考えを出し合い、協力しながら遊びにふさわしい場や必要な物を作るなど、遊びをおもしろくする工夫をする。</p>		<p>○クラスや学年の皆で共通の目的をもって話し合ったり、役割分担をしたりしながらやり遂げる喜びを味わう。 ■様々な行事に、学級や学年で積極的に取り組む。</p>	

資料3 年長組 教育課程(ねらい・内容) つづき

期 月	1		2		3		4		5		
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
5つの領域におけるねらい・内容	環境	<p>○自然や様々なものにかかわって遊ぶなかで、性質や仕組みに興味をもつ。</p> <p>■身近にある素材や遊具の特徴や仕組みに気づいて生かしたり、工夫したりして遊ぶ。</p> <p>○春の自然に興味や関心をもってかかわり、好奇心や探求心をもつ。</p> <p>■自然物の形や色などを生かして、遊ぶことを楽しむ。</p> <p>■小動物を工夫して捕まえ、図鑑と比べながら見たり、適した飼い方を考えたりする。</p>	<p>○身近な動植物に親しみや興味をもってかかわるなかで、命の大切さに気付く。</p> <p>■小動物や野菜、花などに興味をもってかかわるなかで命の大切さに気づき、愛情をもって世話をする。</p>	<p>○物の性質や数量などに関心を持ち、生かして遊ぼうとする。</p> <p>■これまでの経験から、いろいろな性質や仕組みを思いだし、比べたり、関連付けたりして遊ぶことを楽しむ。</p> <p>■数や数量、形を生かして、遊びに取り入れる。</p> <p>○行事等で国旗に親しんだり、我が国の文化や伝統に親しんだりする。</p> <p>■運動会で国旗や園旗を揚げたり、世界の旗を見たりする。</p>	<p>○幼稚園内外の様々な環境にかかわるなかで、遊びや生活に必要な情報を取り入れる。</p> <p>■地域の街路市や公共施設、大学の先生から知りえた情報などを、伝え合ったり、遊びに取り入れられたりする。</p> <p>○日本の伝統に興味をもつ。</p> <p>■餅つきや大掃除をしたりして正月の雰囲気味わう。</p>	<p>○冬から春にかけての自然に興味を持ち、遊びに生かしたり、探求したりする。</p> <p>■冬の自然現象に積極的に関わり、考えたり工夫したりする。</p> <p>■季節の変化を感じたり、春探しをしたりする。</p>					
	言葉	<p>○先生や友達の話を注意して聞いたり、相手にわかるように話したりすることで、伝え合う喜びを味わう。</p> <p>■自分なりの言葉で思いや考えを伝えようとするとともに、相手の言葉や様子からその思いや考えに気づく。</p> <p>○まわりの人に親しみをもち、進んで挨拶をする。</p> <p>■幼稚園や地域の人などに、登園時、降園時に進んで挨拶をする。</p>	<p>○言葉に対する感覚を豊かにし、喜んで表現しようとする。</p> <p>■様々な体験から積み重ねたイメージを、言葉で表そうとする。</p> <p>■生活を通して言葉の楽しさや美しさに気づき、使ってみようとする。</p>	<p>○物語などに親しみ、興味をもって聞いたり想像したりする楽しさを味わう。</p> <p>■自分の体験と物語の内容を結びつけて聞いたり、考えたりする。</p> <p>■登場人物などの思いや考えを感じながら物語を聞き、場面の様子やストーリーの展開を想像する。</p> <p>○日常生活で文字などが役立つことに気づき使おうとする。</p> <p>■遊びの中で必要性を感じて、自分の思いや考えを言葉や文字などで伝えようとする。</p>	<p>○言葉の楽しさや相手を思いやる言葉の美しさに気づき、使ってみる。</p> <p>■相手の気持ちを考えてその場の状況に応じてふさわしい言葉を使う。</p>						
	表現	<p>○感じたこと、考えたことなどを、多様な方法で表現しようとする。</p> <p>■自分の作りたい物にぴったりの素材、道具などを選び、工夫して遊ぶ。</p> <p>■感じたり、イメージしたことを、音や動きで自由に表現する。</p>	<p>○感じたことや考えたことを工夫して表現しようとする。</p> <p>■遊びの中で必要になった物を、形や色にこだわって、音や動き、絵や製作など多様な方法で表現する。</p>		<p>○曲想を感じ取り、友達やクラスのみんなで心を合わせて合奏や歌などで表現することを楽しむ。</p> <p>■様々な楽器の楽しさを知り、友達と一緒に工夫して鳴らすことを楽しむ。</p> <p>■曲の楽しさを感じ取り、クラスのみんなで合奏したり、合唱したりすることを楽しむ。</p>	<p>○今までの経験を生かし、表現するために必要なことを考えながら、表現する楽しさを味わう。</p> <p>■クラスのみんなでイメージを共有し、動きや言葉、音、歌など、工夫し合って表現する楽しさを味わう。</p> <p>■人に見てもらおう喜びを感じながら、表現することを楽しむ。</p> <p>■自分の表したいことを様々な方法で表現したり、友達のおさに気付いたりして表現することを楽しむ。</p>					

